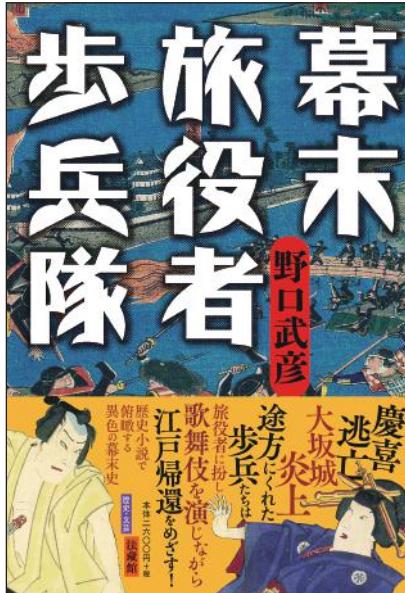


幕末旅役者歩兵隊

の
野口武彦 著

▼46判・上製カバー・250頁・定価 1,860円



慶喜逃亡・大坂城炎上、途方にくれた歩兵達は、旅役者に扮し歌舞伎を演じながら江戸帰還をめざす！歴史小説で俯瞰する異色の幕末史。

2026年1月刊行

【目次】

序 幕 山崎街道

—『仮名手本忠臣蔵』五段目

一 慶喜逃亡／二 大坂城炎上／三 歩兵隊誕生／四 山崎街道の窮境／五 芝居は無筆の早学問

一幕目 桑名

—『伊勢音頭寝刃』油屋の場

二幕目 名古屋

—『近江源氏先陣館』盛綱陣屋

一 青葉松事件にゆれる尾張／二 潮目が変わる／三 熊五郎一座旗揚げ／四 演目決定／五 盛綱陣屋／六 射撃と演技の共通／七 一目散の隋徳寺

四幕目 下田・横浜

—『夏祭浪花鑑』住吉髪結床の場

一 外国船で賑わう下田／二 生き馬の目を抜く／三 住吉髪結床の場／四 田之助人気高まる横浜／五 覧の仇討

大 詰 江戸・上野山炎上

—『偽織襷襷錦』大晏寺堤の段

一 進行する江戸終焉のドラマ／二 大晏寺堤の段／三 彰義隊討伐計画／四 上野山の土肥庄次郎／五 慶応四年五月十五日／六 武士の花道

解説 幕末という「時代」を俯瞰する最後の小説

(石川肇)

◆著者略歴
野口武彦(のぐち たけひい)

一九三七年東京生まれ。文芸評論家。早稲田大学第一文学部卒業。東京大学大学院博士課程中退。神戸大学文学部教授を退官後、著述に専念する。日本文学・日本思想史専攻。一九七三年、『谷崎潤一郎論』(中央公論社)で亀井勝一郎賞、一九八〇年、『江戸の歴史家』—歴史という名の毒(ちくま学芸文庫)でサントリー学芸賞受賞。一九八六年、『源氏物語』を江戸から読む(講談社学術文庫)で芸術選奨文部大臣賞、一九九二年、『江戸の兵学思想』(中公文庫)で和辻哲郎文化賞、二〇〇三年、『幕末氣分』(講談社文庫)で読売文学賞、二〇二一年に兵庫県文化賞を受賞。幕府歩兵隊—幕末を駆けぬけた兵士集団(中公新書)『慶喜のカリスマ』(講談社)『開化奇譚集』—明治伏魔殿(講談社)ほか多数。二〇一四年六月逝去。

注文書

(書店印)

ご担当 様

冊

法 藏 館 定価 1,860円

野口武彦著

幕末旅役者歩兵隊

お名前

お電話

ご住所